

追 悼 評 議 員 横 山 均 次 君

横山均次君は、昭和39年3月29日心筋硬塞で急逝せられ、3月31日自宅において葬儀が執り行われました。その際本会を代表して会長より霊前に弔詞を捧げました。ここに同君の冥福を祈り、つつしみて哀悼の意を表します。



略 歴

明治36年	静岡県に出生
昭和5年	東北帝国大学工学部金属工学科卒業
昭和5年	東京工業大学助手
昭和13年	東京工業大学講師
昭和14年	東京工業大学助教授
昭和16年	東京工業大学教授
昭和25年	工業技術庁標準部日本工業標準調査会臨時委員
昭和30年	学術奨励審議会委員
昭和33年	職業教育教科書編集協議会委員
昭和38年	東京工業大学名誉教授
昭和38年	工学院大学教授

弔 詞

本会評議員横山均次博士の訃報に接し悲しみに堪えず、謹んで弔詞を呈します。

博士は夙に鉄鋼金属に関する学術技術の研究者、教育者として令名高い方でありまして、本会に関しましては理事、監事、評議員の要職を初め各種委員会の委員に就任され、精励格勤本会運営のため尽瘁されました。本会が今日の隆盛を見るに至りましたことは博士の尽力に負うところ誠に多大なものがあり真に感謝に堪えません。今やわが国鉄鋼界の振興が強く要望され、博士の指導を待望すること切なものがありますときに突然永眠され、再び博士の温容に接することができなくなりましたことは洵に哀惜に堪えないところであります。

ここに日本鉄鋼協会を代表し博士の遺された幾多の業績に対し深甚の敬意を表し、謹んで冥福を祈り哀悼の誠を捧げます。

昭和 39 年 3 月 31 日

社団法人日本鉄鋼協会会長 三 島 徳 七